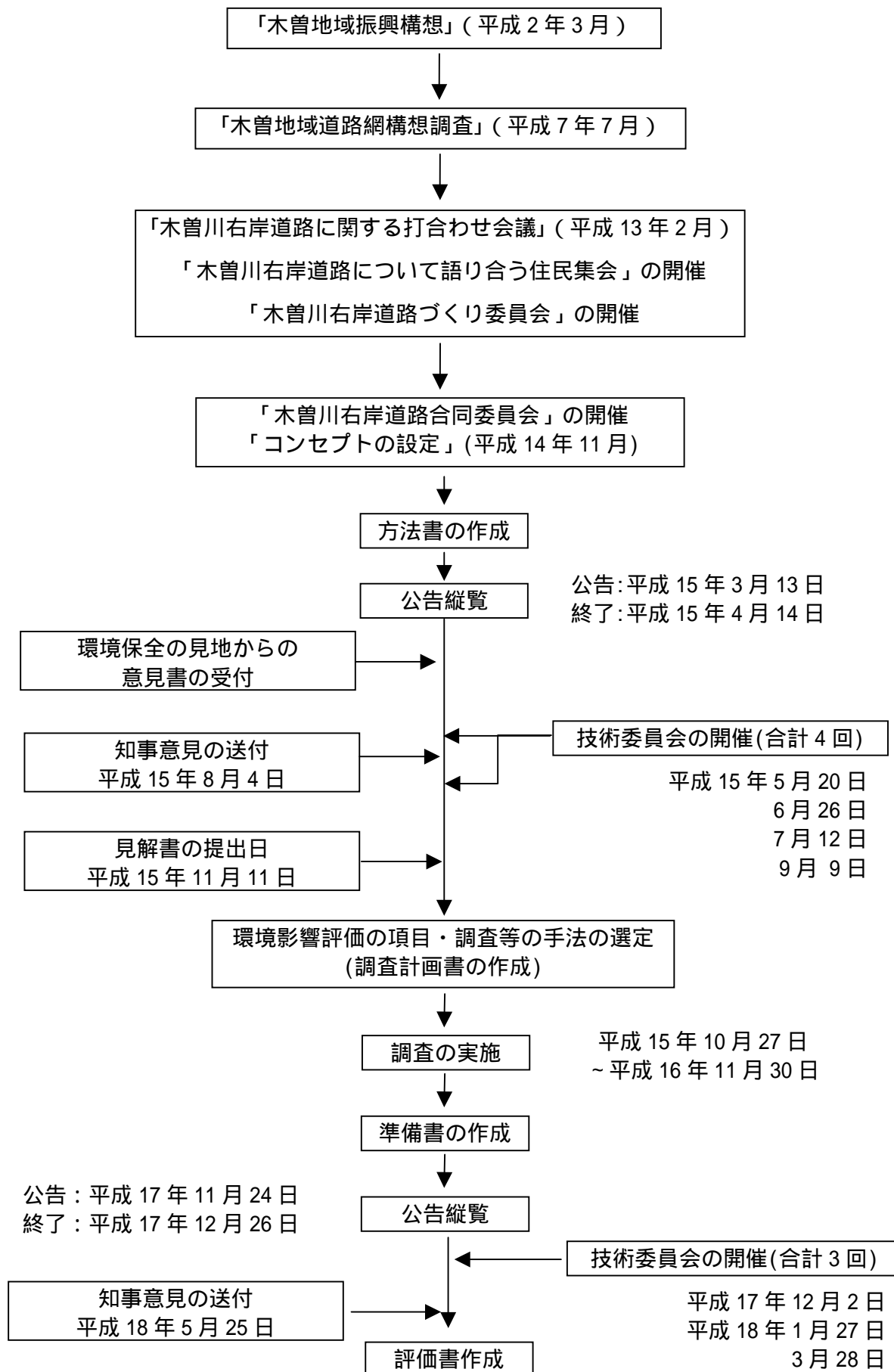


序章 評価書作成までの経緯等

1 評価書作成までの経緯



2 複数の計画路線に対する予測評価について

本事業では一部区間において、計画路線が複数提案されており、環境保全の見地から各計画路線案に対してそれぞれ予測評価を行い、総合的に判断することとした。

具体的には、まず計画路線案が複数ある区間について、環境要素毎に環境要因に基づき予測評価を行い、各路線案を比較した。次に、路線案周辺の環境特性を考慮する等、環境要素間の評価結果を総合的に判断し、最も影響の少ない路線を検討した。

3 計画路線、ブロック区分等の表示について

計画路線は延長約 22km と長いため、調査、予測、評価の結果を分かりやすくすることを目的とし、集落を基本とした 11 のブロックに区分した。

また、本事業では全区間のうち、3 区間で計画路線が複数提案されており、各路線案について環境に与える影響の予測結果を比較できるように配慮した。既設区間である榑野区間をのぞき、複数の路線案（A～G 案）を含む箇所を 1 カ所ずつ含むように調査地域を 3 分割し、それぞれに名称をつけた。さらに、計画路線を細分化した部分を示す場合には、図 0.3-1 に示す名称を使用することとした。

計画路線、ブロック区分、集落名等を図 0.3-1 に示した。